

平成 29 年 美 濃 加 茂 市 議 会 第 2 回 定 例 会
請 願 文 書 表

受 理 番 号	1	受 理 年 月 日	平成 29 年 5 月 24 日
請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	太田町 4168-2 新日本婦人の会美濃加茂支部 支部長 高野 陽美	紹 介 議 員	前田 孝 日置祥子
		付 託 委 員 会	文教民生常任委員会
件 名	小中学校給食費の保護者負担軽減を求める請願		
<p>【請願趣旨】</p> <p>日頃は、市民のいのちと暮らし、平和を守るためにご尽力いただいていることに敬意を表します。また、子どもたちの学校給食につきましては、きびしい予算の中で、献立や食材を工夫し、おいしい給食を提供するための努力をされていることに感謝しております。</p> <p>さて、美濃加茂市では食材費高騰のため、2学期から給食費の値上げが検討されていると聞き、たいへん驚きました。</p> <p>子どもたちは、みんなと一緒に食べる給食を楽しみにしています。学校給食は、子どもたちの心身の健全な発達を助けるだけでなく、食育という観点からも大きな役割を果たしています。また、子どもの貧困が大きな社会問題になっている今、「まともな食事は昼の給食だけ」という子どもたちもいます。学校給食はますます重要になっています。</p> <p>少子化対策や子育て支援を目的に、給食費の無償化や一部補助を実施する自治体が各地で増えています。岐阜県でも、岐南町と揖斐川町が完全無償化を実現しました。美濃市、本巣市などでは第3子の給食費を無償にしています。今回の値上げ案は、こういう流れに逆行するものではありませんか。</p> <p>教育費は、子育て世代の家計の中で大きな割合を占めています。給食費の値上げは負担感を増します。食材費値上がりによる赤字は、保護者負担ではなく、公費からの支出で解決すべきものと考えます。子どもたちは、国の未来の担い手です。子育て支援の一環として、美濃加茂市も給食費の一部を支援してください。</p> <p>子育て世代の経済的負担を軽減するため、以下の項目を請願します。</p> <p>【請願事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期からの給食費値上げは中止すること ・ 食材費高騰による赤字は公費からの支出で解決すること 			